

事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

1 事業者等の概要

氏名又は名称	信州ハム株式会社					
代表者名	氏名	堀川 善弘		役職名	代表取締役社長	
主たる事務所の所在地	長野県上田市下塩尻950					
主たる事業の分類	大分類	E 製造業				
	中分類	09 食料品製造業				
主たる事業の概要	ハム・ソーセージ製造業					
制度に該当する要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	上記以外（任意提出）の事業者				
		基準年度実績	最終年度の目標	第一年度報告	第二年度報告	第三年度報告
原油換算エネルギー使用量	kL	3,547	3,441	3,596		
エチルギリコール起源二酸化炭素排出量	t-CO ₂	7,115		7,214		
調整後排出量	t-CO ₂	7,115	6,902	7,214		
その他ガス排出量合計	t-CO ₂	0		0		
自動車の台数	台	4		5		
自動車からの排気ガス合計	t-CO ₂	9				

2 基準年度、計画期間及び報告対象年度

基準年度	2022 年度	計画期間	2023 年度～ 2025 年度
報告対象年度	2023 年度		

3 計画書（報告書）の公表方法等

<input type="checkbox"/>	ホームページ	信州ハム株式会社 環境施設部 0268-26-8605 (閲覧時間9:00～16:00)		
<input checked="" type="checkbox"/>	印刷物の閲覧			
<input type="checkbox"/>	その他			

様式1号
(総括票)

4 温室効果ガスの排出の量の削減のための基本方針

信州ハムの環境方針

1, 環境側面に関する諸法規等の遵守 2, 環境管理体制の充実 3, 環境負荷の低減
4, 廃棄物の削減 5, 省資源、省エネルギーの促進 6, グリーン調達の促進 7, 啓発活動の実施 8, 環境に配慮した商品又はサービスの提供 9, 環境経営方針は全従業員に向け周知する。

2050ゼロカーボンに向けた中長期的な目標等

目標等の有無	有	目標年度	2030	年度	削減目標	C O2排出量 2022年度比8%削減
削減計画の概要	非化石エネルギーへの転換					
イニシアチブ参画状況	<input type="checkbox"/> SBT	<input type="checkbox"/> RE100	<input type="checkbox"/>	再エネ100宣言 RE Action	<input type="checkbox"/> その他	

5の1 温室効果ガスの排出の量の削減のための組織体制

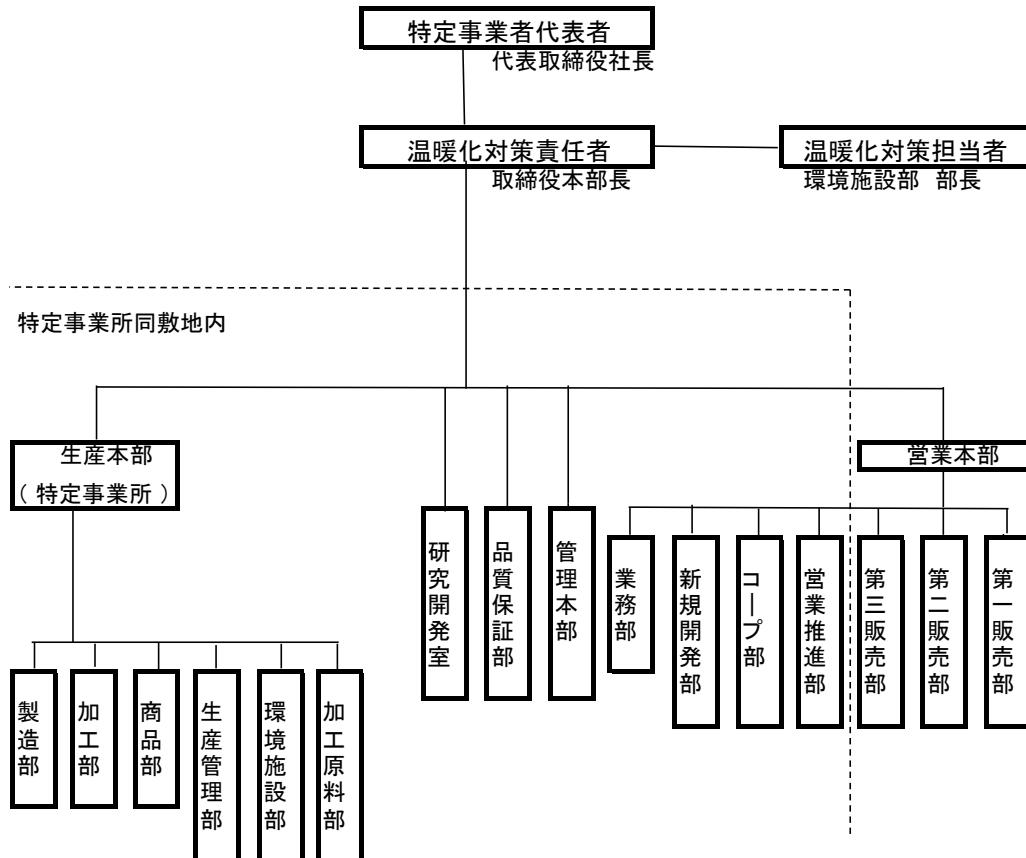
別表 溫暖化対策推進に関する組織図

5の2 温室効果ガスの排出の量の削減のための会議体等の名称及び開催頻度

- ・品質向上委員会（エコプロジェクト） 隔週
- ・月次検討会 月1回
- ・K P I 報告会 四半期毎
- ・エコアクション21会議 2ヶ月毎

温暖化対策推進に関する組織図

2023.3.26



様式1号

6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出の量の削減に係る目標及び実績

様式1号

6の2エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出の量の削減に係る目標及び実績

様式1号
(総括票)

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出の量の削減に係る目標及び実績

基 準 年 度	基 準 排 出 量	9	t-CO ₂			単位	
2022 年度	調整後排出量			基準原単位		t-CO ₂ /	
目 標 年 度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /	
2025 年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量		t-CO ₂			単位	
	調整後排出量			原単位		t-CO ₂ /	
2023 年度	削減率		%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量		t-CO ₂			単位	
	調整後排出量			原単位		t-CO ₂ /	
2024 年度	削減率		%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量		t-CO ₂			単位	
	調整後排出量			原単位		t-CO ₂ /	
2025 年度	削減率		%	原単位削減率		%	
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

7 重点対策の実施状況

段階	番号	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
I ~ II	I -1	燃料使用量等の定期的な把握						
	I -2	エコドライブの励行						
III	III-1	次世代自動車の導入計画						
IV	IV-1	次世代自動車の導入						

様式 1 号
(総括票)

8 排出の量の削減目標達成のための具体的な措置

番号	区分	設備等	対策内容	計画		状況	
				実施予定年度	削減見込量(t-CO ₂)	実施年度	推計削減量(t-CO ₂)
1	エネ起	ファン・プロア	高効率プロワポンプ更新	2023	10	2023	10
2	エネ起	ボイラ	高効率温水ボイラ更新	2023～2024	10		
3	エネ起	給湯・給排水	排水処理プロワポンプ インバータ制御	2023～2024	10		
4	エネ起	その他	電力監視システム更新	2023～2024	1		
5							
6							
7							
8							
9							
10							

9 再生可能エネルギー源利用設備等の導入計画及び状況

再生可能エネルギー源	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度
太陽光	kW	0	0			
水力	kW	0	0			
風力	kW	0	0			
バイオマス	kW	0	0			
太陽熱	kW	0	0			
その他	kW	0	0			
蓄電設備	kWh	0	0			

10 再生可能エネルギー電気等及びクレジットの利用の計画及び状況

種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度
グリーンエネルギー証書(電力)	千kWh/年					
うち県内産	千kWh/年					
グリーンエネルギー証書(熱)	GJ/年					
FIT非化石証書 非FIT非化石証書(再エネ指定)	千kWh/年					
うち県内産	千kWh/年					
J-クレジット	t-CO ₂ /年					
県が認証したクレジット (森林CO ₂ 吸収評価認証制度等)	t-CO ₂ /年					
再生可能エネルギー電気 (自家消費、PPA、自己託送等)	千kWh/年					
再生可能エネルギー電気 (小売電気事業者からの買電)	千kWh/年					
うち県内産	千kWh/年					

様式1号
(総括票)

1 1 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出実績

(所、t-CO₂)

工場等の規模 (原油換算エネル ギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上	1	7,115	1	7,214				
1,500k1以上								
3,000k1未満								
1,500k1未満								
合計	1	7,115	1	7,214				

1 2 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出実績 (t-CO₂)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO ₂	0	0		
CH ₄	0	0		
N ₂ O	0	0		
HFC	0	0		
PFC	0	0		
SF ₆	0	0		
NF ₃	0	0		
合計	0	0		

1 3 次世代自動車の導入状況

(台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイ ブリッド自動車	0	0		
電気自動車	0	0		
燃料電池自動車	0	0		
クリーンディーゼ ル自動車	0	0		
その他 (ハイブリッド等)	0	0		
合計	0	0	0	0
自動車総数	4	5		
次世代自動車導入 割合				

様式1号
(総括票)

1 4 交通対策状況

区分	実施内容
公共交通機関の利用促進	出張や営業活動において公共交通機関の利用を推奨。
自転車の利用促進	近距離通勤者に自転車通勤を推奨。
来客者の交通対策／社用車等の移動に伴う取組	なし
電気自動車用充電設備の設置／電気自動車の導入	なし
物流の合理化	ダンボールサイズ適正化。

1 5 環境配慮活動状況

環境配慮活動	活動内容の詳細	
	実施内容	実施年度
■ SDGs	長野県SDGs登録制度へ登録している	2021
□ TCFD提言	気候関連財務情報開示タスクフォース (TCFD) 支持を表明している	
■ 環境マネジメントシステム	環境マネジメントシステムを導入している 名称 エコアクション21	2023
■ グリーンボンド・ESG投資	グリーンボンドを発行している又はESG投資を実施している	
□ ZEB	の認証を取得している	
■ ディマンド・リスポンス(DR)	電気の需要の最適化に資する措置（上げDR・下げDR）を実施している	2022
■ その他	廃棄物削減	2023

1 6 自由記載欄（特に重点的に取り組んだ内容やアピール事項等）

廃棄物削減のため以下の取り組みを行っています。 ・充填機、スライサーを最新モデルに更新し製品不良率、歩留を改善。【動物性残渣削減】 ・原材料や製品の端材を活用した派生商品を開発。【食品ロス削減】 ・過剰在庫品を 子ども食堂などへ提供。【食品ロス削減】 ・包装工程の生産体制を見直し包装機の空運転を減少。【廃プラスチック削減】 ・排水処理工程を見直し。【汚泥排出量削減】
二酸化炭素排出量削減のための「具体的省エネ活動」。 ・ボイル槽の休日前の「こまめな停止」活動。 ・ラック冷蔵庫前シャッターによる閉鎖の徹底。 ・無駄なコンベア稼働抑制のための改造。